

第10回

- 講演者：大沢 健夫 氏 (名古屋大学)
 - 題目：ベルグマン核と (L^2) 拡張定理
 - 日時：平成28年9月28日（水）16:30 – 17:30

複素領域上では、正則関数の境界挙動が定義領域の境界の幾何にどう影響されるかが興味深い問題である。この問題を2乗可積分な正則関数 ($(=L^2)$ 正則関数) に限って掘り下げると、ベルグマン核を通じてケーラー・アインシュタイン幾何や数論と関連し最近の研究も多岐にわたるが、その中から特に (L^2) 拡張定理 に関係の深い最近の話題を選んでご紹介したい。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

5 images

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2016/010>

Last update: **2017/11/16 18:16**

